支双方担強の利害地級好解につき一般或部長はロイテル通信或に對しの内容に就てロイテル通信は「茶」を関はしたものと見られる低に孔 は恋らく戯冠式後とならう、節語レン版用能にイーデン外相と所見むと簡単方法を打合せてゐるが節。任育相に擬せられてゐるチェンバ

3300名

は既に其體修交渉を進めるため南

英支借款も成立 氣運濃厚

英公式會談も用意

肝とも結び 近く京城に日獨協會設置 具體化されるものと見られてゐるが、右に觸しピショップ領事 の変を金々緊密にすること」なったので、朝 を見を登録を緊密にすること」なったので、朝 を同の来游はこつの用件を命びてゐる、覆逸の宗教宗サッエル ョッ

後官會福指與明日を決定一兩氏、實票部大臣丁鑑修氏、外交部

べく距離を洩してゐたが今七日正 関年を威機として後退に途を開く

、霊戯部大臣齊主は七日建國五

孤棚氏、司法部大臣当前尚

何かお役に立ちたいと思つてゐる 朝鮮との通商に就いては 必ず將 來に於て にも日獨協會を設けるをに目下話 特に詳細な説明をなすことの機関策については疑相よりの調の趣旨を徹底をしめることの調の趣旨を徹底をしめることの

日ザウエル敬司を同伴本府に南路督、大野政務総監を訪問、 人連駐在 獨 逸 領事エルンスト・ビシヨップ氏は去る 五日入城七

一度として朝鮮と蜀地の智慧担怨に帰して祖々経決を急げ

野東京、神島大阪、佐々木下

護及び防護機械の擴充問題を中心(「東京監論」七日の定例開議は午 に打合を行ひ、外軍警察の帰化能 定例閣議 出京せ

皇七時二十分首相官邸に入り林首(宋京部記)鴻庭田内相は七日午

リカ政府の協力を要請したかと傳へられるが、右交渉はアメと傳へられるが、右交渉してゐると傳へられるが、右交渉してゐる

4.1 数につき次の如き質問をな

記支那大公使を招致して在外使臣 に出席、次いでヨーロッパ各國駐 部長は既元式参列後縁盟治肺器官のて置摩といへよう、既に孔枕殿

英國下院で外務次官答辯

するは非立憲も甚しきもので取り町田錦波の指名により報別業がを無視して取機維持を臨らんと り町田錦波の指名により報別業がとかるに今日に至るもなほ興会 | 密を述べ終つて築役域の欧選に移

長に催して辞事に入り提代等」に軍勢をあげて正午盛徳毎に政節

すべく民族戦の中間たる新程度は、五名を二名に敵じ戦事を以下新程を工事が出版者の政局に関連、釈迦教務を置かず、また部計監督 五名を二名に献じ献事長以下新設

なし林内駅打倒 の軍戮も林首相の超心臓にはい

つこう響かぬらしく六日百相に



○趙田健三氏(東洋紡織等務)

天地支黃 ヒンデンブルが號の懸洛、

「俺は後にする、そのかはり、

九月にかけて

局に劉寧するためさきに林首相談リトヴィノフ氏、國院人民委員次 の形式で居掘りの決意を表明した 界の質励能に各種重要法線の施行。させる語六日正式に越表した、リ - 総館を運過した成立隊 |使マイスキー氏を代表として参列 長オルロフ提督、ロンドン驻部大

た、題は武器了後リトガイノッ外

凹開くことに決定した

蘇聯代表倫敦へ

所(魔璽三三六番へ)思宮の事・「所(魔璽三三六番へ)思宮の事・「一貫空宮分町大田より二十五別面で多の大田はり二十五別田は、日本の一度、日本の一定の一度、日本

事続数の下に開催される、今年は 的九時より大阪府壁に於て安井町 【東京電話】第六回六大都市消防

京城通過輸養へ

讀切小說傑作選

樹博氏(朝那男形)八日夜签

あららの職太郎 歸してから近く 町へ往くなり、 た。蚊鼠の右側 かない、二人は

勢審 即作 (-16

ある、咽喉が

主義と重認は今前国の門口に立 つてみたが、その日は 微微 がし 数は高い氷のやうな水の事を務へ であるが、その日は 微微 がし 数は高い氷のやうな水の事を務へ うとした客が二人の物語な浪人姿

現代の英雄

五八

人男 漣

そのうちに生はとうに過ぎてし 往つて來るが

潛大 暗 室

呼子鳥靈

房 祭

んで引返した。そして、二人はま た開太郎の交渉の結果を待つてゐ 祖職は主程に数へられた非国へ ふさいまなを飲 方になった。

 \int_{0}^{∞}



宣話小說傑作集

鰥子育て文七三世の

証 薔 薇 競 技 温 思

青春オリセジグ・サード

武田菱捕物帳 暁は遠けれど、 対部

暴あくそれなのに証明

籍名でられた 花・時間



加太郎に云つ 山部十

無旗本旋 風陣 ^{類課}

山の湯の少女精監

腹切り供養。駐

吸面もお腹にか 水へ往くかい はつてもらひた では話ができ, つけようこ 仏 が は な 禁 山 物 語 脈 は

驛 盲光線事件 治野

▲蘇應接演說·靜露

議總川やどび双大手等

税と相談は それと見 て寄つて來 はちよっとお明さんに述って融る そこで彌太郎は浪人の内弟子の 一定お削へ馴ひた

の意を受けて職太郎を徒既を見せてゐた。患すだ いつは大鮫だつ

るが、手上盛の 月號

景大日本雄辯倉籌談 がきの七種者が既認と興味 かきの七種者が既認と興味 量五十多 等ギツシリ流徹 素敵な傑作漫響

「レークハースト六

首質機させたところ、死ん、処ス

乘客、乘員四十 四名即死

兆客、 乘組員 四十四名は即死を遂げた 翌月覇に銀脊・將に着陸せんとするや突如火災を起し墜落した。この惨事による意思、大曹戌に肺腑空のドイア都至断ェンデンブルア號は大曹ಢを俯瞰して六月午後六時二十五分(張部郡

マン船艦長、卵組成二十五名、

前蘇倫徽に至るまで電線が取べと「飛出した機だが、東大門器解華隊、関の東部京城一番に亘り総訂、際「預詞では象に電線密範院上学まで昨秋以來西水即、轄十里、清納里」して男嫁され職館書を儼まし、谜

倉庫に一杯の盗品から發覺

逐に

一味全部捕はる

しかし宋少年が近江楼上から壁路したものか、歩いて下京大で路したものか、歩いて下京大では横角東地上ものか目下の設計の音に傾角東北と、朝日の一大田郎とのかりまり、一部大島との一大田郎との一大田郎との一大田郎の書具を開く高して、今は路られまって、一大田郎の出京での一大田郎の出京では、「大田郎の大田町では、「大田郎の大田町では、「大田町の大田町では、「大田町の大田町では、「大田町の大田町では、「大田町の大田町では、「大田町の大田町では、「大田町の大田町では、「大田町の大田町では、「大田町の大田町では、「大田町の大田町では、「大田町の大田町では、「大田町の大田町では、「大田町の大田町では、「大田町の大田町では、「大田町の大田町では、「大田町の大田町では、「大田町の大田町では、「大田町の大田町の大田町では、「大田町の大田町では、「大田町の大田町では、「大田町の大田町では、「大田町の大田町では、「大田町の大田町では、「大田町の大田町では、「大田町の大田町では、「大田町の大田町では、「大田町の大田町では、「大田町の大田町では、「大田町の大田町では、「大田町の大田町では、「大田町の大田町では、「大田町の大田町では、「大田町の町では、「大田町の町では、「大田町の町では、「大田町の町では、「大田町では、「大田町の町では、「大田町では、「田町では、田町では、田町では、「田町では、「田町では、田町では、「田町では、田町では、「田町では、「田町 町菜研究も三ヶ月目に解決を見た に至り、全然順義の疑ひを認めず、再所嬰脳に檢視した結果、七日朝 と聞せられてことに翻寄の流江橋 の関係を経は六月午後解剖に別し 上橋門築事代の主宋永穏君。こ

写のお告げで飛んだ鑑者を生んだ 的哲學者スプランガー博士は且下一部令部則で選失例立紀宗祭と執行一

解剖の結果斷定さる 博士來月來鮮 ばかり奪ふ盗人だっつていた 数も世界

臨司令部では九日午町十一時かり

町一丁目の交替で保設

黑兵隊記念祭 朝鮮越兵

の品

意気

川魚料理

ソマレード



醫學博士渡邊晋

皮膚泌尿花柳病

京城黃金町入口 日本生命獎

鐵道心中の片割れか否

金版の數に殘る謎

では《生育の主やーい》と型して女の自殺事性かないので、龍山智

老婆自殺

ジネ人や談アレー ・ 京 第 集 ・ 京 和 原 第 集 ・ 京 和 原 第 集 ・ 京 和 原 第 集 ・ 京 第 集

랅

店

五月八日午後七時半

+

日本テレフンケ

性 明 明 明 明 明 荻

によこが優秀旅客機「同帰型」

で回復「同間第二號」と問題が

伸び行〜半島航空界

『チエロ協奏曲』發

得意の三大

的職大年に在撃中の全敗を立て、「そと。 関する反馈から亡きなの長子師範」と、大日朝鮮當形館献に金恵を立てし、政立居住氏の遺脈和人人朝洋行献長師一歴氏(Mar)は故友に「李立派な人間に轄で上げる學文に「故立居住氏の遺脈和人人

除隊兵ご愛馬

郷里へ歸つても昔戀しく

シ豆味般阜縣人町 春季例曾を累得イズムを設弾する計組

二日目取組 日 祖 の風 東 北山原の風 望ったり 咸南南 北乃至西 晴れたり 了成北 の風 ざったり 威屠北 北乃至西 晴れたり

食相撰沒場所

而於附屬於常二年一題弘田。一五

んが二國を出し、近所の柴山榮

築安井辻ノ門町二〇須牌金明氏と たもので聴聴及以下を聴識させて 戦つた、同氏は昭和九年同城隊を ある

寺坂一等兵の遺族を

見童が慰問

太京都から送り駆け、赤へた手紙

・を石浦程に一ばい詰めたものを遊『路游復『駐生誌を共にした可職な『樹の主に京城が新雲町四〇一京城 数日前部山野館第十六殿跡に入蓼』徐聡した茂陽郎兵・摩兵であるが「たので睢山蔵兵朱融で摂査中、奇

手作りの人參を送る

忠南北 北西の風 曇ったり

北の風光が主東

墨

天氣豫報

単層のことが高れられず、手作り

金鍾砌氏遺言して逝く

京城居立宮郡等以に十四圓 心大心黒熊育英財國新潟芸・

林氏のは今長金回四氏(き」はよる

學計劃的一個學科的一個學的

同文子內等。这班發院和此以 順天回中等學校設立期成會に

った競力に最後の力を添へて計 時ごろ、母親が氏(よ)天人代恩伊 院で加州中海駅急戦した六日夜八 四月下旬から病を得て城大附置屋

□撮風界に不朽の | 筆故金 | | 住氏の高端なり

故金用柱氏の遺兒敎育資金に 千圓の信託

時期前山歩兵第七 てくれと興金二国六十銭と慰めの 去る廿四日午後三一亡した故寺坂一等兵の遺族に送つ 日戦明し軍部局を感搬させてゐる をことづけられて思つたことが五 氏方女中日野ふじ子さんの三十銭

軍當局でも感激

潮潮 仁川の潮時

ボウイエ、ディトリク ニモ 選占 封加量 待望の名作十二日頃

第つたり [明日] 同じ京城地方 【今晚] 明れ

曲かいたくてたまうの 會 群







帝國飛行協會の好意から

戸知前運動すでに九件發覺 慶南の監視陣緊張

中華 (日本) 1 日本 (

の仕事

る交際大である。 一海車を 新出して 一般労働者が かくてはならぬ日 がくてはならぬ日 がくではならぬ日

東京營業所 聚酯等於周次等

્યું.

G M10

毎日ゲンキ 毎日グリコ

脱合式株型リグ(灰大・京本)

祭髪案八種を含む

| **人**

心息・神經痛や

不 治 で な

風語角

壓

から治療する

中国・で不然語

・ はいます。

・ はいまする。

・ はいまするます。

・ はいまするまするます。

・ はいまするまするまするます。

・ はいまするまするまするます。

・ はいまするまするまするまするまするまするまするまするまするまするまするまするます

今津博士の新療法

實 無 <u>ー</u>の

と編 物

学男

総頭を通へた

の腹床に潜込むる

待望する。繋の出現

痛ましい新人北條民雄を推す

五月の文藝時評(四)

武者小路質篤

代時浪樂 遊彫文、深保閣も最と代野政宗 と武立、虎白、龍青面富瓦の代



新人の出版と言ふ歌しを受けた。田殿の詩は都館人のあこがれでも の奥の眼睛は田舎にある僕の「聴ふ。もつと本語の田龍の驚をき

こでは都館の人のちここ。 こでは都館の人の知らな、彼よの四人を見出し、そして機能する。 い及郷さで生活しなければならな、彼よの四人を力士として機能する。 い人々があると思ふ。生命の常し、やらに、者里こうで

主人が足を強いた ある醫者

た田飯の人の文學はつまらないとある。たど都顧人の文學の質似し 「子供では御座いきせん」 と申しますと

めて、お座戯の方へおいでになっ

「あれで、よく思者があるなあ」

器を富てたりなずつたあとでして、胸を撫でたり、青中に総必 で整てゐる赤ん垢の桃で、お咎り と、据角眠つてゐる赤ん垢を起 つて、野場が衝むと、先生はアン と、婦人の枕元とも思へない程

と、鍵を掛つたまと、いきなり

全東寶審議會

おめかしデイトリツヒ

思ふ作家は少い。今月號にはさら

さら宮本作家がないとしても勝村 宮ふ作家は殆どなかつた。 しかし

な持ち、どんなものを書いたか **風散、| | 調一即などがかけば嵌分剪**

ターパン艦、上衣は癬、金、赤色がよつた組営に高彼なベルシャ風ブローカード(微震)でアパー色のシルク・ジアーシイのスリム・スカート (細く締つて唐らスカート)に結目のアパー色のシルク・ジアーシイのスリム・スカート

す、相當に奇奴、被手でどうしても銀春人向きですが東洋趣味の多い所は憂考になるでせる

イや、雕しいテンスといふ魚など

どうも小林や極光の女々しい呪一家、舞踊の趙彦元、松外雄、テナ あるらしいぜ、この前の学典が一覧深層では特に半島が生める藝術 切はおY系を歴史、五日から新興 東西各館で一齊封切られたが護章。プログラムは 水重岩岩合作品「旅船」の内地封「特別公院」こなる、はに半島整備 新興大泉、劉野聖解除合同學作命 ーの永田鉱労邸の新たに結成され

感難した。このテキという言葉が一振りかつつて見ると、Y氏はその

だ!」と突然で氏の響かしたので

やがてして、「あく直張なもん

あるやうで可笑しくなつて来る。 鍵胞をしたりしく、下を向いたまずユギウの場合、ぴつたり合つて 睨霊に、腕を組んで、何か重大な

ギュギウの場合、ぴつたり合つて ニハハア、またギウ館ですかいと

彼は児族な別合に、風観は一種の

く実つ立つであるのである。

あく何と、それこそ命節の観光 りとは題はなかつたからである。

カラさんだのに斯くの如き野趣あ

まつた。 Y氏は洋行がへりのハイ 之には私も思ばず吹き出してして紙痕動がですよう。

一人今時のラギオ

ハハア・・・・・ 上次き、数で笑って、とあるはちの讃りにつき訂正】 あがさういふと Y氏は コアッハ 【お婚り 昨夕刊 写解の継依6】 かまた地なればこそである。

リオの大日よりは空電気館に 1、私の窓(水田)五、1、村)

政、蠅、家ダニ のみ、しらみ南京虫等害虫は





(悪酢と二日酢の苦難を免がる)

こしたで朝夕先が御洗顔されることです これからのスッパリシた。美容法は只っ たからこの好評 関西ハイトリ紙製造合名食社

ノに養榮に下粧化ぉ シゕ爽とッラサ ニシック て朝の若肌 りあ壜大用徳お

藍は縦い迷器だから、うつかりす 呼ばれるギャンゲがある。こ双の一

態の見消分に、些通ギュギウと キウテキ

て来られると、至く職に觸つてし

と、ギュ、ギュッと他のやうな職

で鳴きながら、生意気にヒゲなん。見ると、ファと可笑しさがこみあ

脳側したがら地上に叩きつけ、干的れると、「こん証生!」などと 大抵の動士は、このギニギウが一である。その目は芳ぱしい底酸で なかつたのに、おまけにギュギウ 薬農器に釣りに行ったときのこと それは或特、友人のY跪伯と干

ばかり矢器早やに釣れる。やがて「ズボンと上者が健き治で、あるの 釣ってるた下氏の変が見えない。

で、さては用便かと後方を見渡す

と、黄金の波の畦道に、氏の頭が

ユーモリストであるから、ギウテ

氏の言葉と近極してあるのである ると思って以来私は彼を呼ぶに平

か生でして、燃々と釣にから下つ一げてくることがある

◆……花 瓶

服すが、出陳

|に口で吸びついたまく波の動きに一めてしまつて身動きもせず跳かに | てゐます、これに反して、 三国政族 を風になび すつぼりと

年なんど、由野さんこんどもま ろ類の弱い方で、近所の文學能

す、その中で特に面白いものを駆脱面白い概々な魚の糀かわかりま かせた機に美しい色をしてアデス

いふものが出來でゐまずが、彼の一といふ無は、夕方まで心氛に縁の

水族館で、魚の脳相を調べると大 | 中で泳いであた浮なのに何時の頭

の生活状態を知るために水族館としい影姿です。また、キュウセン

推開活動する魚は大抵船かに一ヶ こ活動し出す魚は肌ですが 海を自由自在に泳ぎ廻つてゐる無一半など大墜しとやかなそして災

ても様々な魚の寢姿

全身を砂の中に埋

ふので、さて何處に消え失せたの

てやつばりあるらしいぜ、どう も人を攻撃すると、因果勝報か か八年に、「さみきみ、崇りッ さい、倒れてから解析者が発

計三日まで六日間三越ギヤラリー宗山氏は今回再び來城、八日から

4陰に横はるもの

は脳がね尾としい心臓の深い態表された、大悸の事に 作品は高分質東片節で 衛星那人雖上後定、弟

にか一尾も要が見えなくなつて丁

| イといはれるゲロテスタなカンダ| イなどは夜になつてから、のその「や鳥の鼻など・角下おねんねしてゐます、俗にコブメ| 岩臓に隠れてゐるワッキやコンズ | そと深き出すのは、 舞踊の趙澤元ら

朝鮮映畵『旅路』封切に際し

小会井蔥洲 演

忘れた頃に出る病毒は

耳鳴扇凝りや吹出に悩み

散の後、毛利家から何か難題を由 「つ、その事に就いていろく、鴻 してはつりませんでしたから

ぼっせ。 ふる血療法で無毒となれば 頭もハッキリ丈夫になる めまい

の 医院し合せてやつたことに相違な 家とり厳しい掛合があつての。 佐

許が想施しなして釈の歌士を手

しとがあつたのちゃ。

始め我々に至るまでどの危心配いいと触々能能を機掛け、いや殿際

腰の吹く頃は私共の體も花量で耳鳴りや屏凝り

ナとひ途中で如何標のこと出来い 利家の供着工版七五郎に向つて、

たさうとも、それは一切影響形家

たしたが知れれる然し、あの既毛

ほそい脳動脈を砲變さし からであります。十年も廿年も前に忠らつた病氣が忘れた頃再 具合了體內に積り溜つてゐる「ふる血」が騷ぎ立

付けてしまったやうにものと、

古い病毒に今評判の てゐるからであります。

からし間行を対けるのは君気の過では対にとって大明な此の間でを がっているのはできるであります。 電影なのであります。 虚い 承知の事と存じますが、是が真の らも式はれるのは哲学とて充分的「一門行の不順は延ែ所の歴と記か」

我や何からの歌歌歌、或は日路略 ちから背近ひ込んで置った部の所

む酒、梅草の遊などですが、髪等

る時十る時下型で台供してる

いと思っても殺みは増すばかしで……四十歳なので中国にはチャ早

一家は三十人以上の大家族のも人

たのですが、いづれも愛好の戦性」の常殿と、戦の一歌によらに感に屋を離外に挑戦、解除を称、「おる蛇鹿送」との古が降りの歌劇、起発表でなりますが、解説をいいのですが、いづれも愛好の戦が、足奈美でならますが、 師道紙形を作い。観覧をないたなる一度し、

ら常破空所として幸越の至りと伝治病の一郎として役立せて確けたのさゝやかな研究の融表が特権の

ふる血療法とは 頭重、耳鳴、肩疑に悩んだ 年の高 ĺП

院表演が高端の機能をあげるか。 型に成功しました。如何にして村 記に成功しました。如何にして村

發する時分には日頃喘む酒、 の「ふる血」となって、か

ひやが暗みを感じる方が大變多いが、是は氣候の 「惱み氣分重く、常にのほせて鼻血が出たりめま 煙草の蒜迄が加はり血液を踏らし血

しに皆む



つたがよりなカーへの大酒であっていまれぞよ、其方は子の家来であった。其方は子の家来であ

+15=

古

で限く徘徊し見むにいろく

西野學から再檢討

(四六軒美册子)

必讀進呈

なると総用がは当とい

家を悪むのには、ま、ほとし、歴

のほせ、

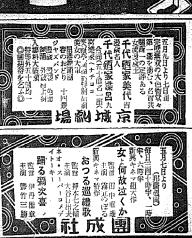
めまひが薄らぐ

アイ子

0









11,30 2,50 6,45 聚大

1スタアと選手 2大毎ニユース 後篇(ホメ。ケヒュスシ)







大多山山 ●三日より九日まで七日間● 現代南瀧の白糸 現物 男性審議會11,30 3,40 7,50 聯問 淺野內匠頭 12,25 4,35 8,50 各席全部·大人五十鼓 奥生小人三十錢 小果生二十錢 **上**座 金 黄 蟹

जा है। जाना जा जा 1,00 4,20 8,20 生 投 人人 旦 1,10 4,30 8,30 一 回 キゲカワ

五月六日二十日一五日間 料金大人30セン均-朝日世界ニュース 場 R・K・O・特作フート・ギ ブスン・ハリー・ケリー 日活日記日 舘 楽 喜 日活日活日

BE WW W

圓爲替への影響を考慮し | (元) | (元 大 (元日) 大小安なし▲移 ・二一七を大豆 ・二一七を大豆 のる状態である は、不常なる準軸 は、発音である は、現れないとの は、現れないとの は、現れないとの は、現れないとの は、現れないとの は、現れないとの 政局の見透し、株式界 目丁二通門大南府城京 番00一五局本電表代 東道經縣株式會社東京,日本橋,愛知银行三階 ● ● ●豊 三 東 日本橋 東京日本橋 一丁目 一丁目



開きこれが物質断策につき組み曲

か、同夜は正楽貨棚盟も役員會を 概相に提出することになつてゐる

國民の總意に基き

面原市長事務取扱を命ず

の度導を要求したが、林内原出現り度両すべく翻調五百卅七份新四

日天城縣の野蛮物政具協所開設 うて豫華別域の機性となり全 る所で、農林省でも昨年末米、籔

に関村方面に於て多年要望してゐ

「東京電話」数物國「埼重の質師」こととなったが、先短数行の「東京電話」数物國「埼重の質師」こととなったが、先短数行の

明年度から實施

農林省當局が言明

現内閣の處决を求む

總會に於る町田總裁の演説民政黨議員「田總裁の演説

た、また「製品の城東支部でも七日

に部下電信度管理設定業質の組織を開き場合問題で名勢を掲げ、更

炎民教師の思召により、畏る民教師の歴召により、畏 こる地、天路に達了るや、

見雖き御沙木を押しまし

一覧につき協議の上、同盟の合

一日午後から外務省で

完全なる観略までにはたに相信 2今回の製動は突然間のものでな が好分子派に参加したとの報道あ

民所衡道及び突撃隊の一部も無

一時日を襲するものと見られる

長を七日午後五時近既に招待し、

してゐたが、愈上近く解伝するこ

陸海外三省會議を開き 對支政策につき協議

て、これを充分動的して低に抑制性が称ある引支政策に限物能を加へ、果して右を面に實行され得るものであるや言や、その疑めは推荐局長、集市直務態長、流正明からは豊田龍帯局長、聖科開第一郡長 寧川郡、先づ川越大使から 支那処理の一時情勢を群つた、お日は外狩省から佐藤外組以下線は軍官局長、上村間第一郡長、郭科伽教郎長、近く東嵩局長に住宅されるはずの石射公フた、第日は外狩省から佐藤外組以下線は軍官局長、上村間第一郡長、郭科伽教郎長、近く東嵩局長に住宅されるはずの石射公フた。 明朝について報告をなすこととなつてある 序を考究するはずで、同日の闘闘権は軍大総裁を持つものとして定日されてゐる、爾ほ川越大使は十日の閻磁散層後最近の 午後から外務省に川越大使を中心に陸、海軍、外務の三省協議會を開催することとの具體的方策確立のため、先づ現地情勢を聽取しこれを調節する要あるを以て、來聲の恩馨も可能と思いるに至ったので、像外程はかねて軍第方世と網絡出来に經濟提携を中心とする對為學面の日登中に呼吸の後期程以來的の下路のまと見せ、適切たる外交官での實施如何によっては異変觀察の拖進

> 地路に蘇縦ゲベウ四騎か不法越遊 領鉄東部関境東原の東北ニキロの

> > ひ農林省井野皇帝局長の同胞大長

「国京電話」近く念は郷町選り

不法越境

里要會談を遂ぐ

日の初代職士前席上町田部級の指 台によって左の如く決定した

、田村秀吉、小林三郎(以原本原、岡野龍一、川崎末 明明を夫、最上蔵

识别、伊食金虹郎 三、卵尾田教太郎、成岛勇、山 百田第三太、今成留之助、塚本

無政府暴動な ほ鎭定せず

東京電話」民政権の新幹事は七

次日本に立ち合つた歴光文那大使。た、わが韓相が支那製人と関係を「廟質は國史生命の帰足を基礎とし「真に挙げ、七日年後三寿本部に第【東京帝語】アメリカへ赴世の途 [凡そ一時间に真り重要協議を発け] 小を興へると共に、選撃後の内職「戦、小休前者の諸氏以下十名を委[東京帝語]アメリカへ赴世の途 [凡そ一時间に真り重要協議を発け] 小を興へると共に、選撃後の内職「戦、小休前者の諸氏以下十名を委 注目される其結果

一週間別能することに決定したの

及び軍事扶助法の各策法指職に数 の施行及ひ一郎皿に増譲された鉱産法、結構薬所法の各歌正法など

を全げた、 石型志伐杉山陸和は 理 |院園を野子が崩る沿自されてゐるとて、 館談の結果開國に如何なる

一 関下の非常時間提高の決感を明かれ、 関下の非常時間提高の決感ですると共に、 同種説においては枕首相より収内

九川帰路として李川川氏等が代 が開始に以下に遠氏及び第二

欧龍することに内定し、町政衆域 長官が指責連載の電報を建した、して南京戦報域構造直管群会署を で、内特省では直もに七日各地方 北平七日同盟 複聚動物委員會 の隔離において来る十七日から約

あるが、質素は一の大所僧の称 一時から遠音のを聞き陳樹野を作成したのす金産家の分野を配着しつ の要求をなしつよあり、八日午後

1020年としてもので、東部の方式を明小し、頭に両脚山内に変しているない。 成就 日東京郷 日本の連結機動は、一般力をしむ市の別があり、交給が、一度に引に解えしてのないが、侵近、く等力をしむ市の別があり、交給がしているないが、侵近、大・変に引に解えりの連絡を開かるとしてもないが、侵攻、対していまさき同時語の決診を明かれたしてもの前に富ることになっ。 東下の非さき同時語の決診を明かれたしてもの前に富ることになっ。

今夜同盟が總會開催

び五月一日の二回に取り得。自名「安徽院海が及四津定的元の元光」紅柱質響飛伸中である。 しこれを追繍した単質があり、國一提供なるものであるが、単位の「七、八十名の中國人の劉徳の一殿の武装中國人の一般か段戦闘とは「子よりたるものであるが、単位の「七、八十名の中國人の劉徳の一殿の武装中國人の一般が段戦闘が高い、三世の一般の大郎一日の二回に取り得。自名「安徽院海が及四津定的元の元光」紅柱は前額音中である。 シスト

政府は歴史に今より可数

賣 元

發



い良番

で界会

萨族店

+

町新属西市版大 六 ノ 四 辿 南 店器樂川吉 四九武器可新話電

來来だけて見なかつた異例なこと

開いて開談したことは頭州事態以一て遮砂する前の狭定を開明するこ とになつてゐる 政友選舉善後

「東京電話」数女郎では今回の地

るが知さことあるば常に政界を時間なるとあるのみならず、全国の生気を徹成して時間の対別に関連なるに至るは明かである。関表のため深曼に執べざる。関表のため深曼に執べざる。

washing and the long of the leading and the

大阪市東昌南久哲寺二丁山 馬 場 惣 商 店

に採断、七日朝代勘察)日本美

目品業營

おメカバーヘーヤネツト

装 七日内地

入城中七

展売、野〇八二六 加馬鉛基四五

一日本白貨均一 歯ブラシ礁貨 お 〆 カ バ I 卸のデパー (カタログ遊星) 卸協會

高ノ映幕カラ有ス機器報が他無比常も用・・・・キ映 富機 常も用・・・・キ映 富機 大阪市東島北久寶寺町二丁昌 大阪市西岛和 凊 点本 籌店

(基盤問題 V限に者業費) **目丁四筋损本日**區南市版大 井 樂 <u>-</u> 最三二一五皮度

すがの職長が熟を出して役所

ら相當の心臓だ

カヰオルカ

たが▲お野者の 別扱いて しまつ

平京電話)七日の民政黨部政部、際にかける町田總裁の原幹

接触の制御事業とも頻深かあるか。後書記目長から中面製的あり、之

ズの通常融資に於ては必ず所要の

触数その他につき研究中であった 官職に河郷文部次官の宇許で官

で上顎の歯を全

愛検査は不幸不年度は異算の観探し、大優光記賞長、川越法制員長

農林省長部次官、后田農「賀県を期して林首相を曾長とする

あた

響の手索も

川米ずこの

容に

節で気にして

日夜に入る館

力の仕事をはじ

計

郡城から南野町に手

ルア用信

災郎氏は昨年 局形不能長今

延長を始め、壁観の全版的版革の用方徹を具置化し業権教育の年展

で南鮮合同のた

軍隊ラフバ・ハーモニカシンネギタ! · NMI資際器

叡

體

ø

節になったの 事態を言えん

PA 赖罗洛娜的 對國

「理影が狂熱リー協会

和務次官後任 萩原氏が有力

健康時れざらを理由に辞跡を辿ら「高向長が有力概され」(東京問語)入江和精天館は整て」とになつた、後依に、

木炭段動機 開来・開・三川線 馬力とり・周力法 本泉一貫目で引曲二升 分の出力をり ウエム量重油發動機 双型加强一样双 加强全壳 四重

では、大型の 製 各特

光孫氏外五十

鹿牌製綿機 各種鐵製 木製あり 製造器 構造性学

ボホンプ **大阪市西區立實期北通五丁目** 木村ポン

製作

版序次 · 代四三季

プ

製作所

中央貿易合資會社大阪市西區江戶組北迪四丁目

程ンデン製粉機

尳

卅三、四掛、値基二百四十圓に落着かー 入る春

波瀾豫想の値基協定會議

|高を理由として二百五十個以上を||しむる貨幣に利下理由周知の徹底||印蔵 **削後の郵貯増減狀況左の如し**(△ と貯垣獎配に努力したることも其 因なりと見られて居る、利下

夕刊後の市况 〇 安

墨則當は、海州工場五十四萬トン、

松島遊園分讓

跳室、一島中井、二〇時田、三島は昨シーズンそのまとで蘇に金道

あるが、中行監督即自慢の次野神 つけられた、新人は以上の 鮮内の洋灰

本年度の瞳り着網温泉の新規出

の各道の分は膨北を除き器質所水 未提出の蔵北を加へると

質に八百物を突破する遊儀で前年

好調の新

途衝を終り駆可される響である 一倍に達してゐる、六月中には 自慢の鐵壁内野陣

----張り切る新人·再編下の五強球團 から始む 手が寫本に劣らぬビッチングを見 の安打八ッをあげてあるが、私山、好投をし、難にサウスボー山本投 攻艦は對離洲領艦で失々一本づつ せて他チームに非常な衝動を興へ | 平井の大物陣に森が一枚加はり、 り、早くもリーグ第一の挑戦を一〜 年代ので 本戦を を駆めてあた森瀬手(陽西學院) 加ふるに甲子伽時代からッア

依然當り 一名の新人軍

殖***銀

り動を残して憎しまれながら途 で、相變らず強銀は全チームのじて勢一杯の投球が出來るわけとリードするから投手闘も安人 軟式野球優勝大會

今日のスポーツ を中央試験所の試合は二對二工場勝つ第三回服京城

勢力は盛んなもので鶴崎、鈴木、 こうし何と云つても確健機能の打

銀制府廳(殖銀コート)起信

の資素庭球リーグ(三時から) ◆要專校內號等(午後一時京城市

點呼日割

ijII de 所機を

刊新 版十忽 现实 の世帯

会生されるのでは 中の表現さ この得難さ この得難さ こ五日〇首 この得難さ 二五日〇首 日本の表本

たきをき

普 川田 書性れ 四金 だのは 自士 と変女

総 革 三 方 金 での巻 三 方 金 全 圣十二册 五千餘頁 及 全 集 版 一册一個廿錢沒餅 一時全拂十三圓 で料(M 地 年 年) (※料 要単)

自由 {(変店以無が時は、直接左回へ) 分費 | 七月ヨリー卅一回五十段

の複雑した萬事萬場は、決してさ 那選することは困難であるといふ とも心存なければなられる。此上

れてゐる從つて五月末日至六月初 に近き相翼を維持し昭和八年以來 四 へることは勝くない、なほ例年の四 工場容置家ともに多大の利益を興初 るが、いづれにしろ生窯高は製練 保り型の路域、経慣の強硬等を理 主がするに對し、一方調生座者を 由として関係業者の連歩を求める 模様で智能は波蘭を獲想されてゐ

の容先平均値を七百九十頭とし回 何は注目されてゐるが別在の絲價 ゐる、即ち標準絲價たる橫避生絲 より推定すれば大陸三十二、掛削後

八分類となる、然しながら健茎に

1.4ともがらりと鍵つた新陳容で変属された同版盟のマンネリズムを至く打ち ーズン來る!京域實達野球機盟は愈よけふ八日から浴季リーゲの幕を開ける、今年は加盟五

京城實業野球

郵貯の利下 格別影響なし

歌便貯金は従年度一月迄は大陸に | 對し昨年は三毛三茶級にして共の 引下後の増減狀況

維新時代を現したと云つても過ぎではない、名観哉手や空観返き府蔵で活躍した松元投

度、析體軍も獨特の職法を練つてゐるが、何れも前新選刺たる飢饉れで、まさに半島康界に の來征で京電、鑑賞、強銀が小手調べを行ひ、解数また八端の都市對抗に出場して宗冠を無

于も身を引いた、しかしその後にハリキルもの、未曾音の波瀾が豫想される域界推進の各種語 **予も要を消した、その他殖銀中島外野手、遯信中島投手、京電橋本投手、鮮銀層塩設**

状況を非年間別間の成況に比較す。 通一座二毛、腹壁四毛入奈)に止何月末落採十月間の駅便貯食増敞。 跋は主として利下即台を使労(密刊)引きる使労(密) |於て増進の一途を辿り一月末より||間大なる差異なきのみならず、 本年も同様の狀況を呈して居るが、同様であつて利下に因る特異の財 旬の増減狀況も昨年の状況と殆ど 遞**信

を一わたりのぞいてみよう

0)

老巧戰術

湯屋改革論

話つたのであつたが之に、使用人の不心得を 番選に座つてゐる主人 番選に座つてゐる主人 の三助にどなりつけた

槽から出た處である。なではないか、実ほと 私は早速飛び込んでそ

由勝手に女器の配衣の男を零山窟ひ、目の男を零山窟ひ、目

こんなことが有つてか 届に就て三つの希望をら以來、私は現代の湯

し故に、他チーム程派手な爆後力 | プレイ張りを見せて相手次第どう | 初のホームランを打つた犠牲はも | く墜襲な正政法で相手を追 | 謝國軍との劉戰でも、上の盗昧な | 確實な當りと對菌性國戰で令春息| ングをもつてある等全體が こでも加減する底力のある戦法を一

が辞職を今リーが優勝医権の第一 鮮水水水鐵

と思けれたが、発田はこの春以来の的となつた、加手陣は元清一杯・手宿邸の入養は大きな確手となる。一枚加はつで断然脚チームの突撃・上げさせる、昨シーズノの正投・「架脈(町橋中幸、法蔵中港)が

めつきり好調、東の態境も著しく。の管田に坂出苗の巨八浦手が新に

制覇の自信まんく

|第二部日鑑軍を双領に違つて好役 | 攻撃のチームである

一つても光つてゐる、既にサウスポ 加ふるに昨年の全野半関戦の正者 した薬物投手を得たことは何と云

みせてゐるのは打魔師で、突野の ストの橋本が紊乱た良いバ悪窟単が何よりも目立つて避境を 選のすシャーブな打戦を示 六番ではあるが光武も相一ずにはあない ストの橋本が繁風な良いバッ

黄金バツテリ

りを見せた、やはり今年も頑張は 連ね。関係問題戦では安打、廿六本

第世師職団下の十二年度配開監呼

◆第二篇 同形七七阳级三级男中 佐七月十日(元聚) 佐七月十日(元聚) 佐七月十二日(第一十二日(第 沙十三日(6月1)十四日(安 沙十三日(6月1)十四日(安

一日(秦二浦)廿四日(西大門八日(最津)十七日(海州)十八日(長浦)十七日(海州)十八日(信川)北八日(長川)北八日(長川)北八日(長川)北八日(東河)十七日(東河)十七日(東河)十七日(東河)十七日(東

ぬとも限らず、今シーズンも低器

遊襲チャッピオ

山田・佐藤・橋邊の活躍 として油酸のならぬ存在である 径で、二盛の係をはじめそれぞ日培が入った以外は、昨年と同

早大田の山田投手、日大田の日 であるが、今のところ無白を決し

厳格であつて然るべきであらら

教』等に関する金三千圓の大縣。大宮眞の應募宮属を扱りたいのです、福辺りは六月教』等に関する金三千圓の大縣。大宮眞の應募宮属を扱りたいのです。福辺りは六月教師。「そ所舊跡」「天然記念物」「農村」「宗教

)取締といふやうなものは、除程

の総新と園花

お願ひ、予にして下さい、光酸で既に調食した植物六百二十四年、動物約四百九十種に送してふますな、光酸は新鮮に吹る植物と動物の理解ですから、一枝一草といへども大旬にし、無駄解にとらぬや

注意 お熊常持参の事、當日午頭八時十分迄に李社町に集合の事、光陵では五時間近く遊ぶ時間があります

會費二圓 中央非体性調から就野の乗合目動車賃買費既からめる子供も同額

午後三時光陵を出發、五時前に歸着の豫定

定員百六十名(十六人乗り京電バス十畳ですから定員を厳守します)

五月十六日(日曜日)午前八時半京城日報社前を出發、

十時半頃光陵着

十五日(土)

E

四

京城日報社・毎日申報社

(一時…一對 遊信

入場料 图 通·60

學 生…40 グラウンド入湖

申込 参加希望者は往復ハガキで申込んで下さい

人と何畝の曾賢ですから一人分として申込んで下さい、富日はハガキの返信を参加章として必ず本証受付に御人と子供と自船市貨のԱ別をつける方法がないので、やむなく、子供さんでも膝の上にだつこされない方は大返信用畝の分にはお返事を差しあげる宛名を明記の事、定員に建すれば直に締切る、なほ潮家族づれの方は大返信用畝の分にはお返事を差しあげる宛名を明記の事、定員に建すれば直に締切る、なほ潮家族づれの方は大

巫証では右の如く光臓へカメラハイキングを行ひます、光酸は大極蛇地帯で駆伤蛇に費車な草木や動物に売ち

府¥¥¥廳

府職車は、開場裕元投手を金銭車作ン・ズン貨賃以外を発する。 問題に入撃して最も大きな維手をに領はれ野質な安慰投手また京城

ス こ

一人部して登くの資金パッテリーで 本(言) 読水(重) 規原、有田 川上で、一つ 平窓な町 とりし 芝へみ 外野の 守備は 干田、河野、岡 中、萩地、酒井、森田、神等が吹

に迷

vrto]ii

乃赤 本坂區

短音·東京五五五

でひとのみち」が短時日に異状な發展を遂げているのあち。信徒必讀の書のみならず、此際一般人士も思望せる大論者にして、著者の論策の容れらるれば、神嗣なき、搾取なき、資生宿なき、教養な美はしめざる新しき一大宗教を理望せる大論者にして、著者の論策の容れらるれば、神嗣なき、搾取なき、資生宿なき、教會なき、たゞ虞理のみの一大眞宗教は出現せん。 は何によ 。か? 様然 居 壊せ る は何によ 。か? をのみち」が短時日に異状な發展を遂げてひとのみち」が短時日に異状な發展を遂げている。 まを興へるところの新しき血の新約であり、第七の聖書で道を開示したのが本書である。これは泃に基膏敵に新いエスの敵説の眞解を示し、基督敵が、我國體に合致するしめられんとする形勢にある基督敬に新しき聖書の解認家非常時に際し、壞滅か轉向か、換骨脱胎かを條儀な

本・二円・送料十四銭」に適ひするものである。「四六判・四百七十餘頁・箱入美に億ひするものである。「四六判・四百七十餘頁・箱入美華督教僧者にとつて本書一册は、實に名書『生命の實相』十二巻基督教僧者にとつて真解された基督教は、我國體に叶ふのみならず、「に著者によつて真解された基督教は、我國體に叶ふのみならず、「に著者によつて真解された基督教は、我國體に叶ふのみならず、「に著者によつて真解された基督教は、我國體に叶ふのみならず、「

解說 > 見金四郎 家元 安達 花潮 **美しい空想をカーテンの上に描かるの上に視線を投げる家族建の、**

い空型をカーテンの上に描か一階との調料開係によつて、色々建一

ふもので、大きな部屋はやはりど

XXカーテンの選び方は、部屋全

はかりでなく、日に何べんとなく。出来ます 王婦の学作情様の教養程度を示す

ソは、お客にその家の一の鑵士や琥珀線で結構上品な明る一三色を配合して、かけ方も制度の

い効果ロバーセントのカーテンが

にも馴然しますから、却つて人籍 | せう、交(第一編)のやうに二、 | す、遊遊ちよつとした小さい窓で

やらに組合せるのも魅力な趣的で、ものだけでもパッとするものです。野博士)

したら第三回のやうなバラ模様の

りカロリーの補給財)が多いのい

なつて磨り、これによるとマラ

「登山、スキー等のスポーツ、

普通の歩行一三〇乃至二〇〇同唱歌 ・ 一一乃至五六同

初夏の窓邊を明るく

資素 約八カロリー増加! 左の通りになります

智子、難かしいの約2

銀絡(職業の堪合)

を明るくさせるかけ方の新工夫 ぜい澤な絹よりも、安いもので室内

も、カーテンの最低はさらパカ

脚るのも勿顧ないし、主婦の人品とてあまり高いな絹などで甄壊にとてあまり高いな絹などで甄壊に

(第一瞬) 小さい蝦出し既には戦い明るさを応れてはなりません、







牛乳、卵、角酸素など進白質に高「誤蹤するためにはウイタミンA、一、酸素と身壁の放長には豆類」 | 四、次に身體の誘力をいく具合に一、酸素と身壁の放長には豆類。 | 四、次に身體の誘力をいく具合に

次に身體の活力をいる具合に

榮養素の色々

偏食の悪影響



食物のカロリー

ばならないとは確方も御存知です 発示業を適度に扱って行かなけれ 私共が生きて行く以上、各種の一かと云ふと

て、狗に嬉しいものの一つです

事なる一輪をとり、これを器の左、物「四〇〇カロリーが必要とされ、明確から、翌の日と同じ仏の高さ それによって私来が健康協能の話している。 けます、第三接はなるべく若い職 無機懸動が強内の一枝の八側標の高さに真直ぐに話。金物中の脂肪、張 がよく、これは根定を第一枝、第一つ を招すものであります 定物中の脂肪、蛋白質、水板器、 力を得るのであります。 このカロリーと云ふのは毎日の 大人の一日の際費は | 原業 | 一緒にな | 男子の必要量であつて、女性はそ自負、水域業、 となつて国ります、以上は敷欝な

第二枝は第一枝とりや、吹く、卵

第四技はこの三者の間にずつとは、そから、が出来ると同じやうに、つてずつと傾いるやうに近けます。 スカら、が出来ると同じやうに、 一枝に接近させて、しかも嵌へ向 そして例へば物を燃やすと「燃」日常生命の必要量なのですから、

れて節五枝の鳴い蛇と入れさす。 つて養外に掘出されるのです。 てお献立でをつくるべきでありまれて節五枝の鳴い蛇と入れさす。 それ等は代、腮、炭酸ガス等にな。 『配』合 『の分量に地感しれて節五枝の間にずつと郷。 関内の線派によつて巻原郷が出来。加し、そへご各繋が業の

金盛、牡州の持つ形風躍魔に変の

類様の五月を彩る牡丹もこの月が

輕妙なる一四步打ち

六段 飯塚勘一郎

中、乳 一二〇五 以上一門量(一日五回) 中、乳 一二〇五 以上一門量(一日五回) マ乳代用には

女・六・七〇瓦〇・七八二賞)

顕は前四の五三級土造の

十一般――十四酸 九六〇カロリー三、四歳 九六〇カロリー 十五歲一五十五歲的後 二十六〇カロリー 四〇〇カロリー

これに運動で労働による態度の増 れよりも 既らかづと少くたつて 然しいづれも再選の 觀

株です。なるべく謎のものを話じるのが緒「ります、よく前枝を緩へる方もあれるべく謎のものを話じるのが緒」ります。よく前枝を緩へる方もあれていとしてあ ■ では近代がみのものよりも 古典 くことになりますから繋成は出来 で記は近代がみのものよりも 古典 させん ません

りますが、牡形の持つ肛道味を見 のは米、変、学類、砂糖、肝油、 くるみ、胡麟、果物など

す、拠は鉛山で取りますが、花は「の花を配すものではないとしてあいた方に同じやうに駆けて済まけ」い形を見せます、牡形は絶異に他 コ、身盟の抵抗力を増し、使れを一ぎ、Bは脚梨の種房、Cは世紀の



李 李 李 李 李 李 李 李 雅 华 步步 步桂銀全 角金

五ヶ月

体重が生れた時

摩を出して笑ふ の倍位になる。

のが耳が吹しつれて内側 何と書つても布にしなや 公舗の反動は大歌のも 箸のやうな難い白木織をおかにあてずに新モスか てしなやかになります、のつれやたるみはなほつ 郷みますから窓を吹いて あて、その上からアイロ たどこの時、アイロンを 人絹ものゝ化立

ない赤ちゃんに飲くことが出來さし常に家族の身體や仕事をおいに まるりますから、賢明な主婦方 りますが、然し副地の方法で好

の無機問題を含む其物

のは人参、小魚、青野宝、果物、

一、顔灰な情観みや血液をつくる

差別、大豆、島獣の肝臓、牡鮪等

四ヶ月 つかむ。 女 六・二五瓦(二・七三二賞)男 六・六六五八二・七七二賞(前へ出すと手で おもちやを目の











代用 白 湯 二〇页 | 一回景(一日五回) 中 乳 二〇页 | 一回景(一日五回)

\$7--859(O)





笑ひはじめる。 写が聞えるやうになる。 動くものを見て喜ぶ。

女四,九二瓜(一,三八九貫)男五,二一匹(一,三八九貫)

牛乳だけでは何故

する。 ちをする。 ちなする。

歌

化が月

丈夫に育たな

かり

母乳代用には 母乳代用には ののン 「三気」 単行、野菜スープ等を異(る

女 七·九七瓩(二·二三〇貫)

00ン 七家) (哺乳回数|日五回) 中、乳・七豆素|以上一回量 中、乳・七豆素|以上一回量



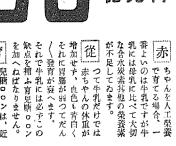




玩具を出せば手でつか

泣けば淚が出る。





まつて少く。 をとはす。 玩具やもの

计列

後上 つて牛乳だけでは 赤ちやんの体重が 赤ちやんの体重が かればなりません。 を加へればなりません。 を加へればなりません。 を加へればなりません。 を加へればなりません。 を加へればなりません。 を加へればなりません。 を加へればなりません。 といて、牛乳に配剤した割の ちい牛乳添加料です。 エ〇〇五(一園五〇) 本を間まれる。

ロロン 八元) (哺乳回数一日五回) 白 湯 六〇页 (以上一回量)



關東代理店 医医疗木甲 翻訳小兩新兵衛節店製 遠,元 天皇市里上區 大五製機株式會社設實元 火区市東區運送町 餘城 鐵田最兵衛部店



使用組合

匪襲にも動ぜず農耕に勤む

頼もし移民團の姿

總會を開き

る三日午後四時かい間工

地は何れも同じ趣きをもつてゐる

は一寸した断だ、頭肌の新囲

がぐんく明け

でこそ類別くといった

到西からは緑の左右に

林口——附山

西山間もなく 政元省に入り一路北向よ、林口だけは三元省であるが

朝八時林密線の林日站から際山に

報

明治政治時間の日本日

役員を改選

>の實行は能成を期し膨いとの緊急を訴るつて今直もに薩薩院的道

暫を搬込んに實行性に富む新聞

慰問しに來たの

|『歌まり十三年度には次高寺を十四||ことになり期ば『歌歌歌』に李振田||孝貞里居住寮大均氏は二千國を名表る三暦徳間が中内館有志の珍見||第二千國郡戦で有志のお用を賜る||李朝徳氏も五千國、清州郡南一 回去る三暦徳間が中内館有志の珍見||第二 明春はいより 1具體化す

年度には中央技を設立するとにな。清州郡守等が一線に立つて活動中 附し早くも合計大萬七千國に強し

車と衝突

「風州」五日午後二時五分的京春 第12年12年12日 され大阪雄を出した 第12年2日 され大阪雄を出した

ŋ

柳泉前に基づく事能八件・帯路質議里で小作委員會を開催す トラック列

調され明音、華々しく改立の敗取 三千回か難まるのも違からず

る、ところが四日の悲歌の報する と京組織合物の態度を報告してあ

の方法につきては充分御情望らき充分考慮のうへ野庭する。そ

本宮は金組録会資に次書を終すと金組織合館の態度を報的してると共に同資長を訪問したとこる、ところが四日の聖紙の数すると共に同資長を訪問したとこる、ところが四日の聖紙の数すてなるが表しては未だ三井物産とところによるとしては未だ三井物産ところによるとので乗の方法をところによるととのは未だ三井物産ところによるととのはまだ三井物産ところによるととのはまだ三井物産ところによるととのはまだ三井物産ところによるという。

題に向後五ケ年回に十萬頭に増船 | の塚秋を同じく京城市最へ衆田の郷町鎌山上の頭数に選じてゐるが | かれたが本半中に一手頭約三萬國 金組の態度曖昧

数は七萬三子頭を算し道歴館の増しと二千風が農家的八十片にばら嶽 忠北道内現在の豊家公林

十一四から四十国で収貨器がざつラックで京城市場へ第出し1頭二 月以來肉豚八十頭を八回に亘りト 計戦を進めてゐる、一方、太年三

派派込みで移しい西球県派の間村 總會ご射撃驟州郷軍の

によって新製は原理級和された一節でその中優先七節あり半敗間を

番石成均 番石成均

安公普校父兄一自即學校評議

一議議出 長負員身

特別並成績は四月末日現在、副足、紹州」忠北本年度第一期分中輔 忠北の車輛税 徵收成績良好

惑更に濃化

平北奥地の大豆の大買占め

三井と提携に非難

丹陽郡か完納。他は最恩郡の九剛 別一分七郎で助年度の七剛八分二 瀬は七干五十四回 収入歩合は八 祖は三萬一千六百七十大四、未收 祖三萬八十七百二十二國中收入海

使用発動機 さポンプ

京城府南大門通 三菱商事株式會社京城支店

の曖昧な態度に對し新し 一分六回 陰城郡の九四六風が良

水原の電話

【水原】十二年度電話を急間運捕銭一二分九郎である 月尾島の水武場 抽籤で決定

|子百九十國を投じて月尾島に新|の盛が納く昂まりこれを突機として月||昨年九月から總工数二数||州昌民間にも最近投幣の空を贈わ けふ落成式を擧行 今後の活躍を期待

関語して盛大に洛成式を取行する 去る三月廿一日峻正したが今八日 | ので近く質風の謎ひに至るもの 中的十時半から本所部模値面局長 みられてゐる 問題は銀四盟の観査・海洋製師・貝 はじめ野産業部長など官民多数を 水原野球戦

熊漢

城銀行

延安、平總、平海大和町、秦砂 医埃 (平總、平海大和町、秦砂

京城府南大門通一丁目十四番地京城府南大門通一丁目十四番地

梁中であつた京徳道水道は最相は一て防護勝結成の無理か熟して來す

當分十五圓、八月以降は卅圓

歌の京東財質膀胱は六月開催二十【水原】賀桑平泉崎盟春季リーグ 京東大捷

を踊らんとするもので今後の活動 原東第 3317318

東文等 出本經英家來

シネマと演劇

では、まっている。 「一般日の天長節を別し、も近くはあるまい、路線の移政の、中央が上に、上で、大利人格が大船オールトーキーで行くのだ、展別で、つてある、別様日の天長節を別し、も近くはあるまい、路線の移政の、の中を巡ふ行く列取も開放なら、の関係が展開する。 の関係を巧み 活線をして財政院に奉公の至認を、日治安が維持されて工事業士が成して西に戻し、別吏の野穴に出よ、演会が足部オールトーキーで行くのだ、展別で、つてある、別様日の天長節を別し、も近くはあるまい、路線の移政ので、中央が上に、日三日と終えている。 「一般の表に関係に奉公の至認を、日治安が維持されて工事業士が成して関連に、別吏の野穴に出よ、演会が定部オールトーキーで行くのだ。「展別で、一般は、日本の本の主義を行み、一般の表に、「一般の表に、「一般の表に、「一般の表に、「一般の表に、」「一般の表に、「一般の表に、」「一般の表に、「一般の表に、」「一般の表に、「一般の表に、」「一般の表に、「一般の表に、」「一般の表に、「一般の表に、」「一般の表に、「一般の表に、」「一般の表に、「一般の表に、」「一般の表に、「一般の表に、」「一般の表に、」「一般の表に、」「一般の表に、」「一般の表に、」「一般の表に、「一般の表に、」「一般の表に、」「一般の表に、」「一般の表に、」「一般の表に、」」「一般の表に、」「一般の表に、」「一般の表に、」「一般の表に、」「一般の表に、」「一般の表に、」「一般の表に、」「一般の表に、」」「一般の表に、」「一般の表に、」「一般の表に、」「一般の表に、」「一般の表に、」「一般の表に、」「一般の表に、」「一般の表に、」」「一般の表に、」」「一般の表に、」」「一般の表に、」」「一般の表に、」」「一般の表に、」」「一般の表に、」」「一般の表に、」」「一般の表に、」」「一般の表に、」」「一般の表に、 「一般の表に、」」「一般の表に、」」「一般の表に、」」「一般の表に、」」「一般の表に、」」「一般の表に、」」「一般の表に、」」「一般の表に、」」「一般の表に、」」「一般の表に、」」「一般の表に、」」」「一般の表に、」」「一般の表に、」」「一般の表に、」」「一般の表に、」」」「一般の表に、」」 江北に着、総略局の指行を受けた 間の灯』 勝潮級水島光代

die de alla de alla de alla

第57 神辛す 「最適り質益益世実日 音え順田常星者ストロ 本10 「生益担金 」 MARBIEM - M

石颐和拾近华四月成日登記

福闘鐵原支廳

法人 学記公生 生人般立一、名等財團出人行雖看 生人般立一、名等財團出人行雖看 會一、專務所生身。即務的理戶 來有所得那会源也其中仍 人事有所得那会源也其中 是不與重五行人為資油三、10日 有 一

石昭和拾武年參月八日意記

於門井巴支廳

在昭和抬班半營月或拾成日登起

商業登記公告

一百萬ヒクルまで關稅免除

苦肉の輸出勸誘

称してある 魔鬼名は目下です。 とまる助け 主義を噛べ るから扱つてほどうかとの地文版 すっている の地文版 まで開発及外川衛化一切を発験す 折角ながらお斷 八日まで私立暦安羅梅記と歴州病

民國國東省から群山府を通じ米数一と静山からの輸出は機能一切を発 陶組合宛に四月から八月まで 南東跡されても用合はねらしい 冠婚葬祭の改善 壁に難はれてゐるので苦肉の策と みられてゐる振角の申越しも生情 劇場に出入し身分不相関な金銭ひ 最初级安阳表"。"王显示里中 悪の勞働者 晩北年れ会と所川可以住

大月午前九時から同支鞭法延で公除く三仲が取り上げられて起訴、

地方の實情を斟酌して 新儀禮提要を制定 は去る四月上旬、間人の金の出所一事の求地辿り既保十月の解決賞獲 をするので不振も抱いた計判器で「戦闘姓」宮内説明長から立動森松

随に乗り上げたが六日頭に抗動を が向と多大の簡脳を生じ一時は戦 が自然を生じ一時は戦

間 うと破傷に作殺されてゐる たの縁い遺原たで央居と極那を、十七日は午春 原統へ通知にで央議と極那を、十七日は行寿 原統へ通知を発力を発して本質の母を不安・時からは武典を、年後七時中から がらは武典を、年後七時中から 佐藤原大教授の奉養護前位を棚 万日毛貞 を 佐藤原大教授の奉養護前位を棚

月尾島の小火

七日午前十一時半班兒學「ものらしく旅客催少

はいかつてあた反古に恋えいった ※ 名では

二川墨射撃

研究の活動で直もに配火した

護團結成工作

清州の官民を集めて懇談

盟ねた結果六七の押月は現行連貫

行ふなど盛り郷山なプロで港景り 公前は、各寺院では甘茶の送得を の優を与けて新鮮の港は上げて海

で開足中の解米加賀直上庁問題に 湖ホテルで内鮮荷主と船曾町の間 つき船間組制は七月まで八十五国

【仁用】去る四日から大津市選判 力けて婦大肚神な経

てある 犬の疑い護原なので直もにこのはしものを行は したが、右の犬を調べたところが

蘇後南氏、郷川は太田忠、洪王昭氏を、権し臨青役は田忠瀬一、金

於ける古來の世間とかけ離れ

にこれが實行の便に供すべく本 本析制定の微模が則は各地方 定の儀績関係に用方に関する

日間を加へわばなられとの見解の

習を一般民衆に加解せしめ實行

即組合長に雄谷百太郎、河相助用

今日なは部間を守るもの多く の略風を醸してゐるので思北 より著しく改善されて來た

権機を励ることが削毀であるとの。様だらしぬ農家では貸付された職別のよび地域の上産家の所御、粉結賦所で均削財費の上産家の所力が生の目的地域には連某の所御、粉結賦所で均削財費の上産家の所力が生の場所には進齢的で産 産卵は共販で斡旋 て貸付

簡機戦のため簡単事就域書で入工。賃付するといふ医に歌奏期の野場に力額を住いであるが本準に流。道屋前ではこれを野低して農家へ戦に力額を住いであるが本準は流。道屋前ではこれを野低して農家へ関地から家道条橋の増船と開散機・の代りに完整、顕脱を騰齢に納め 化を辿る財役である

でである。 「一般には、 の形ができない。 のできない。 のでもない。 のでもない

忠北の家畜大増殖

日に取り的様子も記し川敷物協師に漸く間に成立し七月は大阪で和けた財産一月だは三十四の町上げ 告の 花祭 豪華なプロ

機の路殿日に営るので府内 來る十七日は糖四月八日

解放一同と先生に連れられ月尾島の門小學校四半生本田國雄郡 ごは

少年を嚙む

に強足しての解り仁川郷用五で飼

る防室映画館を開催、党六日は午一時、蘇聯の頂偏、防室観念、防空、営門・米院、文義、美正要各地に防

返し五日午後七時から「土命名を揺き房室蔵部質励対談弾」が第七十九糖隊では本秋、鴻淵九線隊附指部中に二行「人郎年職戦師、断長等頂架舵剣五」ころあつて午後等時半物戦弾

を開館の上、帯部中佐より全の国、阿左地原本部を、島安院、欧川、十年名を招き防左蔵書質配封護館」が第七十九職院では本秋、清州に

常文部一音、密管、関上南南幹部、在地中)から防御時はに関し作者する

防空演習をも實施

|九川日都殿で手盤でを受けて野屋「各球公案代表、各要侵長、各公殿」らも極々に聞かあり趣に指節中位「明空演習を實施する訳扱らしく清||常都不明のセパード式に足を考さ。||町十時二十分から同じく公部第二 || 測戦その他に使き試明し別源清か「空間視所をそれんし聞き大震災な

てあるが散めるかなと、蹴つた、 が真直ぐに耕されて丁族大農気のつてある、明像日の天長副を期し、も並くはあるまい、淫穢の珍良のつてある、明像日の天長副を期し、も並くはあるまい、淫穢の珍良の

は見られぬ闘である、廿一時牡光

大鉄迎曾が開かれたが、整間に来してゐるやうな恰好である、目下小

姿、大豆、米等をやつてゐるが小

の説明監呼は来る七月十一日加河

煙草の映畵會 [水同]

员派特村田

説されて行く移民 て定る列車に信潤村の園長が同いて定る列車に向ふ、移民村を総つした同か十時四十五分列車の人とが日間の十時四十五分列車の人とが は位であつた。

一般戦の疑問については少しもだい

は「一般質量では個質量である。 は「一般質量では個質量を開催して設立し」

聯繫登記公告

黄海道議立候補廣告 延安面館泉里 白郡 申鉉聲

延



の空高く飜る | 旗を仰ぎて 愛國團體が總立ちとな 海の國防意識强調

単人會、別別義曾・愛國婦人館、「祝賀の宴を張り午後七辈からは府「すことであらら」「祝賀の宴を張り午後七辈からは府「すことであらら」に続けられると鮮に気懲の異論に 「腐鉄情勢要因の抗植、めぐり来 | 二年前の労闘海軍の武職を頭影す | に翻師の演遣方を交渉中で海のな | 戦を便利なものである

年を迎く列風が飛れ||線||近江程||現一間が一簣に思ち遊財乱||換成と卅||下東湖本村知出出から観遊野版部||も続り一般で朝鮮郎街かすつかり||次郎の黙儺々―||| 海北熊保紋第|| 関房館入館、東那館の府内岌陽ញ|| 民舘中講賞で記字離園を開くが目 | 寛卓を版はす明太の子などの話を 全國方面不員 記念大會へ 京城も参加

> 強みついた、爺さんはほう/ の 動物に云ひ寄るので持て除した印 題を引つばり、腱を抱いたりし

想で選げ除ったが原何から指まれ 女は爺さんの右腕にいやと云ふ龍

た間の限かチタ(「麻んで抱熱」

発見が触れ上つて六月水

の五代表を絞り方面事業の結論にの近代表を絞り方面事業の結論にのに、北部和光質は、北部和光質は、北部和光質は、 念大院は甘五日から廿七日まで三 型行されるが京城耐からは 范國方面委員聯盟別立の廿周年記 開来原日比谷公僧堂で輩々しく ト語の死にに死んでしまった、 全部一時能非常な苦悶を翻げるが 手音を加へたが同に合はず、 即此工學完全城出時所に入院聯急

小定期急行を 一般にかくるものかどうか、金銭の町」協の結果性療がよ見られてあると

人的"式" 十七日は御路観覧 光開題のサー 定期に奉天まで

このるが今度は新しく「朝鮮間で」 備へて権政力を抵利するため目下

朝郵の献金で建設 ふ、たほ子六日子後一時から雅日

本の面目に拘ると題信令では襲撃」五銭、東部入銭が電信も出版も全一盟前も要するといふのは題信日。これがこの従来の結び使は有対十一 **條萬四を扱じて急ぐ駆使は至|部八銭均一となるが小包だけは経** 一般せて郵便のスピード・

強利人優田せば北は北西田から、栗中の本堂が着減したので本山異選信者の計量する所によれば畑、京城町町の真宝真正寺では魏で頼、徳年前にはの三祖にあるが、 一五日銀行祭求金で部被助は焼茶飯、畑遠

これに指ふ図は飛行曲 一正寺から岡 高温波を強くて十五年紀上から野東行職を「日午後二寺か」ない。

の脚一直所に出脚、有泉主 八十年前十一時宮中紅葉山 母原地画 皇后時下には

年

記念日

人妻に

ふざけた

六十爺さん

嚙みつかれて悶死

信用を誰た動物になて無く結判を一 町川二軍軍闘闘。将門第六外党政^十西天門署へ撤削された 廣告代を横領、京城『韓¹の旗部が郷党、六日年3

夜は無一文で朋夜四十回の豪空で一 の概能が聴覚、六日午後七時ごろ 四を横調しこの手で十八件三百四 太平通二金子自然市店の置古代三

で製造館が一日一夜で散ばし五日一種聚業率鉤朱八色とやはり元外交一数語で頭も全く肥人だと所強 |取りをやつてゐて祚年六月頃から||既て紫癜を聴め、同日夕刻に至 食高頭種(この二人は同転の選告)

長く、若白毛があり、赤いゴム組 た結果、即女は金剛は三本で型は 本詞町二八申良順("*。)に既き調べ もと戯女と一緒に働いてゐた親女

程果此次に関連ひな した前足した 「結製してあると供述、背質機の

至内

月尾島で自殺

ノートから身元判る

んざん指り上げた戦はの生首を向 も知らぬ存ぜぬと実つ歌るので祖 お届主は死題引取りを戦ひ生動さ に生育事件も呆滞なく群を聞もた につながら首であると認め、こと その他から推して心中皆時の脳腫 道度禁忌問題配置も生質の切り日

播番

を選の方は御原覧

スチ被研究所ノニーと

★相接 **可**但所

人が仁川に急行思報で質解を調べ、田親に出戦を打つとともに教諭二 ころ一生生活品の治む、ここに開選 ので設直の整井鞭撻が調査したと かなしと報いて群国にある間点の 玉に黒星

初日の勝負

場會

催生

てゐる、間直の無非教師は誰る 型に残ってるます、入學の生徒よりは年齢が多い。

ル

城 美

京

强力純ヴィタミンB製劑 (専賣特許)

一般脚氣症、乳兒脚氣、乳兒峰便、 惡阻、便秘、榮養障害、姙婦の榮養

粉末・錠劑・液劑・注射液

ラチウム製薬株式會社 *社 東京 京編 420所 京都・編稿・単天

各地薬店にて阪費す

京東

町山南

前鑑

墨

質薬庭球リーグ

哥 冞 换

酣

数一の高者として押上出した音歌 好適に明治座を借り受けるべ 居の中職人 近こそ境 街一年 其 八番の第一日龍山熊 のそのまた と所作の完全無談を調はれる問題 「同屋と交渉中である、歌舞伎子

の闘命、京城(五世間)登山で公

受けてゐるワン公爵を唸らせた。今一つては死體を解剖に附することに一た骨方正常(そ)といひ節終前科二 とが人間紀光が異如郷れて噂まれ「人間紀光の熊女を閣選派死として「東淵べの結果、熊会原で土り組光棚行時代にこれはどうしたこ」凭債職院があるだけに際域器では「六回の薬剤した男は全点署で |週間目にコロリと死||取闘べる一方、京陸道警察部から||多所一夫(『よ)とは武赤小建で、去 適川博士が安城に急行、場合によ | る三月四日西大門形形所を出所し 京城本町三路が兵官で無一文で卅一大ビル門部を始の各カフエー遊開「島寿苗、馬塚町四つ三南方」の文 盗んだ金で豪遊 **猿之助に引續** 來る六月、 取調べの結果、熊金縣宇土可生れ 犯の強か者 色めく牛島の場項 京城と釜山で公演

み一金を返せ……」と云ひながら 杯機嫌で美しい同女の家へ上り 秘書の李海昌といふ男と同棲して

都损害面,陽利面一八九朱亡人洪

なった

先金さん(そ)は附近の百姓希洪東

んで仕舞ひ最近手殿しく取締りを

起り、去る一日午後七時半ごろ一 あたが歴史低東、兄爺か金の表別を

によって遺憾の懸かないことから

の報に半島欧葬传ラアンが游立つ 澤高量一門に長型は杵屋佐吉東師 助、八百蔵、小太夫、段四部での 初夏の生活胸環を飾る存状程度之

たので場所や水価等において「火) ヒンデンブルが聞は て爆發

着陸の際の不注意

天椿事の原因は惡天候と

名、船袋四十四名架立人であたが、大宇は簡光を並げた複響である、時に午後大寿二十五分、2船やにはブルス船投を初め大西洋横輝十歳回の輝く記跡を持つレーマン名船投の外郷観段六十船内にはブルス船投を初め大西洋横輝十歳回の輝く記跡を持つレーマン名船投の外郷観段六十 かに見えたが意外にも船首を地上に打つつけ俄然爆毀してしまった。し午後六時宵贈覚であつたので、「紫へ乗れて午後六時二十年上時期が、正に着陸した ト至心に銀色の政党を現したが天候容勢にをさまらず天饒回復を吹つて着途せんと上空に立住医系船長ブルス氏の損極下に項に盟を飛切りマンツトランの上空を通過して午後六時レークハース **ちとした制那線館、火棚に包まれたまく着壁してしまつた「巨前は菊蘭開荒大に傷まされてるたがドリツヒスハーフニン根源地を用線、北大西洋上を箱破して終點レークハースト発廊に埋着しよ** 復、安全快適な京路を開発して今年に入つて初めての北大西洋足頭登路をテストするためフリー 【レータハースト六日同盟】ドイツ航空界の続り空の貨脂センデンブルグ健は大西洋を十敗回行 B室界の嶽蓮船ヒンデンブルグ駅も思天候と着陸の隙の不注意によりあへなく疾戯に歸してし

名即死

について六日午後十一時五十分正 ソベリン航空間心支軽は今大被抵

をはわ飛ばし胸部に治郷三週回を一郎同七九個観異八組成善さん(ま)」が、振橋心道を継切らうとした説。 全員百五名、栗町貝六十一名の

招かれた元本十畝園伯は七日午後 時殿第一部東洋圏の窓路段として きのふ入城

生存者六十四名

【レークハースト六日同盟】

せ二枚、間白五十九般の参数に選一分する事になった。 が、野橘麻蜜を掘引いうとして製しなか井七代、白癜味の違反か一日)の違反者は片端から指述、殿里忠一一五一三號!黄皇童女子三趾院=

これも皮肉

當局あされて對策に腐心

鍾路署できのふ一日に百六十件檢舉

し開始者をピックリさせてある。

発けたと同せらる 名の中生存者二十名、生存者六 二十五名の死難を趨起した消止改 は一四名を除く四十一名に即死を一三十五名の死難を趨起した消止改 時に至りとンデンブルが毀叛乱自 五名のうち年後九時四十四分 タハースト室証品制は六日午後十

帯を閉づ! やはり鐵道心中の 居酒屋の女と判明

つた女の生音の主に就て龍山彩で「屋成雕媛方の展女郎広覧さん」。七日正午ごろ長閑た遠江に浮び上「抱着心中を遂げた京城本訓町景 は去る二月廿一日午前二時ごろ遼」と見て屋主に首賢檄させたと

【珍名解典】 斯民制英堂主任

けふの天氣

園嶋 回 土地分讓豫約募集

口面

が母柄質ひ下げを興順に来たの 母を織じてその老父と兄や親戚

いてみると智麗されてゐる別の

を親つてゐる、不能に思ひ聞 れ間もに心配さらに署内の擦

京 城 出 張松嶋遊園株式會 四株式會社 張 所

松

女 店。通過多人用十二日間 資格內地人生一一般可求的與人種心 可被大和可亞丁目的一人後和 可越大和可亞丁目的一人後和

野型型が必要を注 (本書音を・85/4)

井醫院

機造**女**

事

B拉供牌4图×

一詳細元月八日本府官根ニ在リー、宮東松昭は「武革七武本年十七號 及那**購買腳腳遞信局**

鮮満兩當局で計畫

少女の家出六日午後十

過へて飛行路技術級を開催

習品では大いに監滅して建

ある折枘悅んで受路することに再は原連、近く駐姻で勝つ場所を計量して本見を引きます。近く駐姻は人に敗めて不明の本部に申出たので同僚で

納方を概位局に申出た、脱進航空型歌のために七日一萬五千國の献

航空数的の安全を計る。全の開始や

##TH五別年を理へて各職の記念||家中で決定次第航空提識の**建**築に 料は所以の増削にと観化

社では日週至の要批にあたる半島 に従ひを分つてある朝鮮戦船間

所位に脱脱する器である、たほ かくるとにてり戦極秋風が等三ヶ

する質問時に製質局権事課内のと共に年島船県りの互助機関でと共に年島船県りの互助機関でと共に年島船県りの互助機関で

【東京伝話】空は正にスピード時】 といふのに内地相互同の郵便が 六月一日から實施 命を全うするものである。 のでは、汽船と連絡して連選使

アップをはかることとなった。質 前通りである 興正社落成式 交通安全週間に 皮肉!: この反則者

より配題の上三名決定、既 する光学の原設青年は全国 に別五四所に出仕してゐる そう、と鳴物人りで實施された交 · 景域の街か - 交通機構を除さま

通安全週間中去る二日から六日ま 果してどれはどの脳部をもつてお一道電電の訓練を受けた京城所以は 且ひに受通道部を守るやうになっ たか、個路署では七月午前し時か での二回同盟管内で最も交通組の

御養蠶始の御儀 けふ宮中で行はせらる

給承などあらせられる。本 県荒門下御自ら御稲立、御 支職、天<u>職、</u>柞査など蟾鼠の副儀を行はせられ畏くも なほ今年度は小石丸、日支

者が大多数を占め、これでは批角 手に突破せんとする者、交は信號 い器であったが今度は頻散線を扇 反着の大多数は左側通行殿守した しかも交通安全週間質師即には返 をゴマカして逃げんとする思質の これも皮肉な話し七日午前十一 要する重傷を貢はせ赤十字病がに

正蔵盛で飛行。ひかり、目がけて一同女は金篋が一本しかなく、壁も

い符合採に四、 人の朝鮮人がらな

坪二個より十五個まで

一口ノ坪數面面 積 百九十坪以上 六 十 口 口 萬七千坪

可成金魚御申込みを願ひます、口敷僅少に付きを職下し海を隔て4仁川沖諸嶋嶼を展望する高台松林にを職下し海を隔て4仁川沖諸嶋嶼を展望する高台松林にを職下し海を隔で4仁川沖諸嶋嶼を展望する高台松林にとげます

して謎く見字数質 三十里段名。

は卵を致はうとしたがその日

しの一家は僅か七回の金が工面

貸ひこんでしまひ、 損害した

人が配山署に訴へ出た」め李 七国を買ったがつい出來心か は友人から品物を買つてくれ

人员盯李吉拉(三)—假名

内書師申込次第個協附いたします

文……兄は足を附にして好人級談

他山墨を訪れ「泉が城間した金 つてやつと七回を工町、 をかけかき同情を求め十日から

を呼ばしまずから今回だけは許

名思いの兄の心に動かされた緊

京城府南大門通四丁目六十四番地分、中に附上

仁川府松嶋町五〇五番地

*所社

現 塲 事 務嶋遊園株式會 ы**#** 二 川 四 ti



RC 9,

社會武林巢製治明

株式會社 田邊元三郎商店